

発達障害実践シリーズ・プレミアムDVD

発達障害実践シリーズの最高峰・プレミアムバージョン第2弾が完成です。より多くの方へ、より多くの感動をお届けしたいから、お求めやすく一つの“語り”ごとにDVDを1枚ずつ丁寧にプレス。1巻ずつのご購入、4巻まとめてのご購入、皆さまのご希望にあわせてお選びいただけます。

2012年7月24日 発売

プレミアムDVD “セカンド 2nd” 「臨床からみた現代の子どもたちと大人たち」

第1巻 今の問題：子どもについて

子どもの育ちと発達について、臨床現場で想い、悩み、考え、ひたむきに行動されている田中康雄先生。第1巻では、「発達障害」の仲間入りをする子どもたちが急増していること、「社会性」を獲得することに困っている子どもたちが急増していること、「攻撃性」を上手に扱えないでいる子どもたちが急増していることを考えながら、子どもへ伝える社会性とは何か、子どもの攻撃の本質にあるものなど、現代の社会問題と子どもの育ちについてお話いただいています。

第2巻 今の問題：大人・社会について

日本の社会変化について、時代的変遷と背景を日本の精神構造や家族機能などとあわせながら、時代ごとにトピックとなったそれぞれの精神的な病態についてわかりやすく解説しています。ヒステリーや対人恐怖、学校恐怖症、拒食症、家庭内暴力、行動化・攻撃性など、私事化現象を子どもに向けてしまった社会の大きな失敗について、そして、子ども時間で生活をしなくなったこと、発達のつまずきについての仮説から、神経系の脆弱性を変えることはできないが、子どもの環境を変えることはできることなどお話いただいています。

第3巻 生活をおびやかすもの

子どものたちの生活をおびやかす現象として、自然災害や事故、虐待や事件などの人的犯罪について、概説を行っています。そして、子どもが受けるさまざまなトラウマの特徴やタイプを確認した上で、発達障害であるがゆえの生きづらさについて、実状を交えながらお話いただいています。また、発達障害において、よくトピックとして挙げられる二次障害についての位置づけを確認しながら、決して起こしてはならないものではなく、生きていく経過の上で生じるものであると考えることで具体的な対応策が見えてくることを解説しています。

第4巻 子どもが被る生きづらさ

二次障害について、より深く掘り下げた内容です。二次障害として課題を顕在化させることで自己主張している子どもの精神心理を解説しています。そして、二次障害の中身としての、外在化障害と内在化障害は、どちらも身近な他者を巻き込むことが特徴であり、あたりまえのことがあたりまえではないこと、子どものしんどさに近づけるか、近づく努力が出来るのかということについてお話されています。最後に、田中康雄先生ご自身の発達と発達障害に対する考え方を語りながら、発達障害支援の方向性について論じています。

●収録時間 各巻60分 ●販売価格 各巻3,000円（4巻セット価格10,000円）

田中康雄 先生（こころとそだちのクリニック むすびめ 院長）

<略歴> 獨協医科大学医学部卒業後、旭川医科大学精神科神経科医員、助手、外来医長などを経て、北海道立緑が丘病院医長、国立精神・神経センター精神保健研究所児童期精神保健研究室長、北海道大学大学院教育学研究院教授を経て、2012年5月から現職。

制作著作： 神奈川LD協会（公益社団法人神奈川学習障害教育研究協会）

技術協力： メディコラボ(Medicolabo)

